

はじめに

落花生というお酒のつまみの定番。かきのたねと一緒にカキピー、莢を割って食べる莢煎り落花生など、おなじみですね。高カロリーだが美味しいので、ついつい食べ過ぎてしまうという話。また、青春のシンボルといわれるにきびができてやすいとって若い女性などに、敬遠されるという現象。

確かに過ぎたるは及ばざるがごとしということはあると思いますが、誤解されているところも多いようです。落花生には体に良い成分が多く含まれ、健康的な食物であるということは意外に知られていません。ちなみに(一財)全国落花生協会では一日20粒程度を食べることを推奨しています。また、おつまみだけでなく、いろいろな食材としても利用可能であることも、もっと知られて良いことだと思います。

一方、落花生は植物としていっぴう変わっており、地下で実が生育する地下結実をします。地上で花が咲き、受精すると子房の一部が伸びて地下に潜る。わざわざエネルギーをつかってこんなことをする植物は、他には1~2種類しかみつかりません。しかも他の植物は地上結実もするのですが、落花生は地下結実のみです。

その他にも、養分の吸収や、葉の運動などにいろいろな特徴を持つ落花生。不思議だけど、とっても役に立っているこの植物を、本コーナーではQ&A方式で紹介したいと思います。是非皆さんもこの植物のおもしろさを知り、その有用性を理解いただければと思います。育てるのはコツさえ覚えれば簡単です。そのエッセンスも紹介しますので、実際に育てることにぜひチャレンジしてください。

筆者は、幸いにもこの植物の品種改良に長年従事し、そのなかで、もろもろの不思議を知ることができました。そして、落花生は一見取り付きがたいのですが、一度知己になると離して止まない魅力を持っていることを実感しました。そのことを読者の皆さんに少しでもお伝えできればと思います。

残念ながら、他の作物に比べると落花生の研究者は少ないのが現状で、多くの課題が未解決のままであるといえます。拙いながら本コーナーが落花生研究へのいざないともなり、研究者増加への契機の一つになれば、望外の喜びです。

なお、本コーナーのQ&Aのルールですが、正解と思われるものをお選びください。なお、正解は必ずしも1つとは限りません。中には回答のあわせ技(一部も含む)もあります。お気を付けくださいね。